

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	基本事業	環境衛生対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	公衆浴場施設改善事業等助成事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	風雨のない家庭にとって、公衆浴場は日常生活で欠くことのできない施設であるが、その数は段々と減少しているため、経営の安定化を図るなどの必要な助成を実施することにより、公衆衛生の向上や増進、住民の福祉の向上を図る。		
29年度概要	公衆浴場業者への水道料金助成 公衆浴場施設改善事業補助 公衆浴場活性化事業等補助		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	香川県知事が指定する物価統制令により入浴料金が統制されている公衆浴場業者及び高松公衆浴場組合
意図(どのような状態にしたいか)	公衆浴場業者の経営の安定化を図り、転廃業を防止する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
補助金交付件数	件			3	2	11

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	一般公衆浴場数(銭湯)	箇所	目標値			7	7	11
	実績値				7			
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	一般公衆浴場数については、目標どおりの実績をあげることができた。 (目標達成度)						(達成度)
							100.0%	
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[千円]	19,351	18,925	18,220	18,638
(事業費)	[千円]	9,756	8,945	8,014	8,432
(職員人件費)	[千円]	9,595	9,980	10,206	10,206

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

平成 28年度は、3施設に対し施設改善に係る補助金交付を行った。加えて、活性化事業及び水道料金の一部補助を行った。今後も、一般公衆浴場施設の活性化に向け、助成等行うことが必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

市民の公衆浴場の利用機会の確保のためには、銭湯の経営の安定が必要であるが、入浴料は「物価統制令」で規制されており、料金の値上げによる対応は困難であり、引き続き市の助成が必要である。その一方で、公衆浴場数の維持のためには、利用者の確保が必要であることから、自家用風呂の保有者にも、より多く利用してもらえよう、公衆浴場組合による銭湯のイベント等において魅力ある事業を展開していく必要があり、今後は、公衆浴場経営者の意見や市民のニーズの把握などに努め、助成対象事業の内容を含め検討していくことが必要である。